

ワーク1 「4つの配置例を参考にエリアの具体的な整備のイメージを考えてみよう！」

■タイプⅠ テニスコート6面

()内は意見が出された班

よい点	課題や指摘
テニスコートの現状機能担保 ・現状と同じテニスコートの数が確保される (A) ・戸倉体育館エリア不足分を補足するのであれば必要 (6コート分) (B) ・戸倉体育館から追い出されるならテニスコートは必要 (B) ・テニスコートの代替施設は必要 (C) ・戸倉体育館エリアでテニスコート (クレー) がなくなる計画だとタイプⅠ (あるいはタイプⅡ) が必要かな (C)	テニスコートの現状機能担保 ・テニスコートの使用は盛んでなければ不要ではないか、白鳥園で利用期待できない (A) ・市内の別のテニスコートでまかなえるのではないかな (B) ・テニスは利用しない (B) ・テニスコートをこの地で行う利点、理由がわからない (B) ・テニス利用者の調査が必要 (B) ・テニスコート6面の需要があるのか (C) ・現在の利用者 (テニス) など considering テニスコートの面数を決めたほうがよい (C)
白鳥園の集客につながるか ・テニスの汗を温泉で流す (B) ・スポーツ⇄温泉の関連で使用度アップか (B)	白鳥園の集客につながるか ・テニス用の更衣室がない白鳥園への利用の狙いはわかるがうまくいくのか (A) ・テニスの人口 (お客) が限られてしまう (B) ・テニスコートのニーズが低い←日常的に集まる場× (C)
芝生広場とのつながり ・テニスコートと公園の親和性が薄い (A) ・公園エリアに特化したほうがよい、スポーツ施設は体育館エリアに (A) ・芝生広場との一体感に欠ける (B)	芝生広場とのつながり ・テニスコートと公園の親和性が薄い (A) ・公園エリアに特化したほうがよい、スポーツ施設は体育館エリアに (A) ・芝生広場との一体感に欠ける (B)
その他 ・河川敷に駐車場を広くとる (A) ・河川敷と駐車場を結ぶ歩道橋がほしい (A)	その他 ・子どもの遊び場がない (A) ・更衣室 (レストハウス) がほしい、着替えもできない (A) ・施設管理には塩尻市並みに十分な資金が必要 (A)



■タイプⅡ テニスコート3面+遊具広場

よい点	課題や指摘
テニスコートの現状機能担保 ・テニス利用者に多少配慮 (B) ・タイプⅠと同じくテニスコートは必要 (B) ・テニスコートの代替施設は必要 (C) ・戸倉体育館エリアでテニスコート (クレー) がなくなる計画だとタイプⅠ (あるいはタイプⅡ) が必要かな (C)	テニスコートの現状機能担保 ・テニスコートはここにはいない (A) ・テニスコート3面は少ないかも (B)
遊具広場の必要性 ・遊具広場設置により多世代に配慮 (B)	遊具広場の必要性 ・遊具広場も含め子ども広場としたほうがよいのではないかな (A) ・遊具はもっとほしい (B) ・遊具は必要か (B) ・遊具はあってもよいが利用年齢に限られる (C) ・子どもの遊び場、芝生の丘側がよい (アウトドア) (C)
テニスコートと遊具広場のどちらも整備することについて ・遊具広場は芝生広場との連続性がよい (B)	テニスコートと遊具広場のどちらも整備することについて ・中途半端に感じる (B) ・どっちつかずで半端になる、1ha なので用途は決めるべきではないかな (B)
その他 ・河川敷に駐車場を広くとる (A) ・河川敷と駐車場を結ぶ歩道橋がほしい (A)	その他 ・運動公園との連動がみえない、外部からの流入を目指すなら明確なゾーニングが必要 (B) ・白鳥園の入場客が65歳未満の大人と子どもが多いので、そこをターゲットとする施設を (タイプⅡ、Ⅳ) (C) ・施設管理には塩尻市並みに十分な資金が必要 (A)

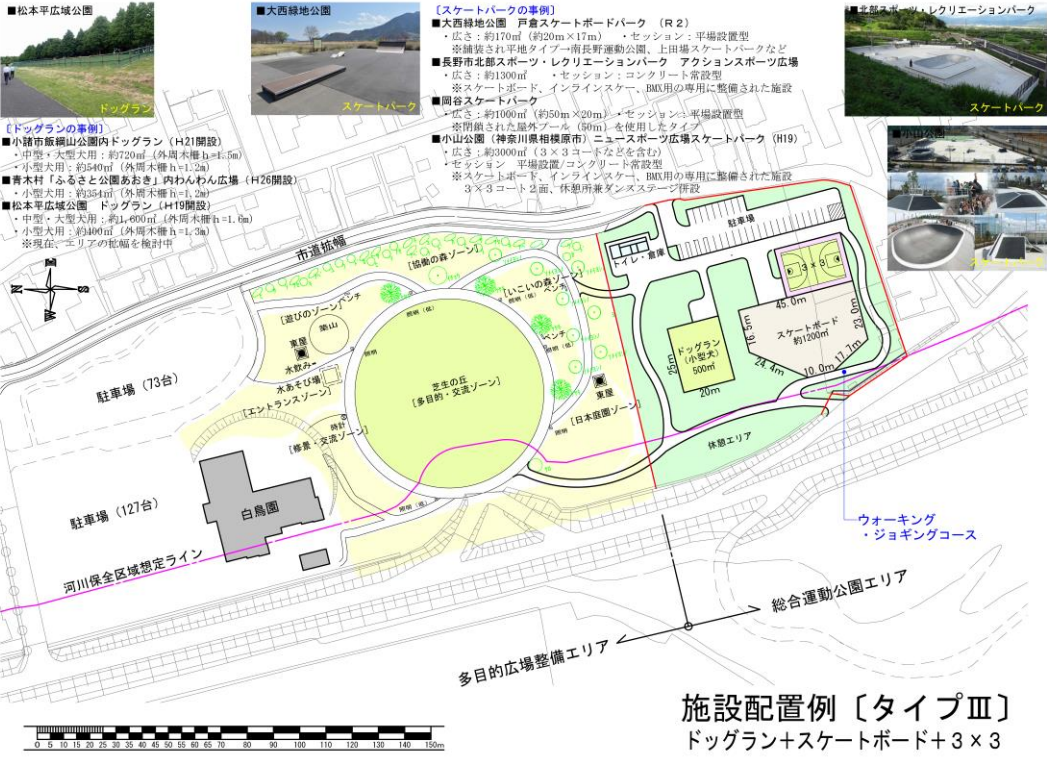


■タイプⅢ ドッグラン+スケートボード場+3×3コート

よい点	課題や指摘				
ドッグラン・ニュースポーツの必要性 ・年齢、性別問わず人が集まる（犬の散歩など）（C） ・ユニークで特色がある（近辺になれば）（B） ・3×3、スケボー、人気があれば新しくてよい（B） ・いまどき（B） ・これまでの意見、ニーズとしてはあり（C） ・スケードボードができる場が少ないので差別化が図れる（C） ・敷地の真ん中にドックランをつくる必要はない（A） ・ドックランは河川敷エリアでよいのではないかと（A） ・ドックラン、3×3、駐車場などは河川敷エリアへもっていったらよいのではないかと（A） ・真ん中にドックラン、動物の好き嫌い（B） ・利用者が限られる、夜間の騒音（B） ・ドックランなしでニュースポーツのみがよいかも（B） ・ニュースポーツの必要性（B） ・中長期的視点だと人口が増えるのか、稼働の設定が必要では（B） ・動物との距離の取り方（C） ・大西緑地（近い場所）にスケードボードがあるので差別化を（C） ・マナーが悪いと近所の方から苦情がくるかもしれない（C） <tr><td colspan="2"> 白鳥園の集客につながるか ・いまどきの施設が多く集客力は強い（利用率は上がる）（B） ・犬も利用できる温泉など、今後新たな事業なども生まれるのであ（C） ・スケボー、ドックランは白鳥園にお金を落とすのか（A） ・使用者に限られる、周辺から呼び込めるのならあ（B） <tr><td colspan="2"> その他 ・ウォーキング、ジョギングコースはあり（B） ・行政で公園管理運営していくのか（A） ・施設の運営を民間に（A） ・施設管理には塩尻市なみに十分な資金が必要（A） ・ウォーキング、ランニングコースを白鳥園エリアと河川敷エリアにわたって連続性をもたせたらどうか（A） ・ドッグラン、スケードボードは河川敷エリアに設置可能（B） ・ドッグランの隣にスケボーは危なくないのか（B） ・差別化を図るならかなり特徴がある遊具でないと（C） </td></tr></td></tr>		白鳥園の集客につながるか ・いまどきの施設が多く集客力は強い（利用率は上がる）（B） ・犬も利用できる温泉など、今後新たな事業なども生まれるのであ（C） ・スケボー、ドックランは白鳥園にお金を落とすのか（A） ・使用者に限られる、周辺から呼び込めるのならあ（B） <tr><td colspan="2"> その他 ・ウォーキング、ジョギングコースはあり（B） ・行政で公園管理運営していくのか（A） ・施設の運営を民間に（A） ・施設管理には塩尻市なみに十分な資金が必要（A） ・ウォーキング、ランニングコースを白鳥園エリアと河川敷エリアにわたって連続性をもたせたらどうか（A） ・ドッグラン、スケードボードは河川敷エリアに設置可能（B） ・ドッグランの隣にスケボーは危なくないのか（B） ・差別化を図るならかなり特徴がある遊具でないと（C） </td></tr>		その他 ・ウォーキング、ジョギングコースはあり（B） ・行政で公園管理運営していくのか（A） ・施設の運営を民間に（A） ・施設管理には塩尻市なみに十分な資金が必要（A） ・ウォーキング、ランニングコースを白鳥園エリアと河川敷エリアにわたって連続性をもたせたらどうか（A） ・ドッグラン、スケードボードは河川敷エリアに設置可能（B） ・ドッグランの隣にスケボーは危なくないのか（B） ・差別化を図るならかなり特徴がある遊具でないと（C）	
白鳥園の集客につながるか ・いまどきの施設が多く集客力は強い（利用率は上がる）（B） ・犬も利用できる温泉など、今後新たな事業なども生まれるのであ（C） ・スケボー、ドックランは白鳥園にお金を落とすのか（A） ・使用者に限られる、周辺から呼び込めるのならあ（B） <tr><td colspan="2"> その他 ・ウォーキング、ジョギングコースはあり（B） ・行政で公園管理運営していくのか（A） ・施設の運営を民間に（A） ・施設管理には塩尻市なみに十分な資金が必要（A） ・ウォーキング、ランニングコースを白鳥園エリアと河川敷エリアにわたって連続性をもたせたらどうか（A） ・ドッグラン、スケードボードは河川敷エリアに設置可能（B） ・ドッグランの隣にスケボーは危なくないのか（B） ・差別化を図るならかなり特徴がある遊具でないと（C） </td></tr>		その他 ・ウォーキング、ジョギングコースはあり（B） ・行政で公園管理運営していくのか（A） ・施設の運営を民間に（A） ・施設管理には塩尻市なみに十分な資金が必要（A） ・ウォーキング、ランニングコースを白鳥園エリアと河川敷エリアにわたって連続性をもたせたらどうか（A） ・ドッグラン、スケードボードは河川敷エリアに設置可能（B） ・ドッグランの隣にスケボーは危なくないのか（B） ・差別化を図るならかなり特徴がある遊具でないと（C）			
その他 ・ウォーキング、ジョギングコースはあり（B） ・行政で公園管理運営していくのか（A） ・施設の運営を民間に（A） ・施設管理には塩尻市なみに十分な資金が必要（A） ・ウォーキング、ランニングコースを白鳥園エリアと河川敷エリアにわたって連続性をもたせたらどうか（A） ・ドッグラン、スケードボードは河川敷エリアに設置可能（B） ・ドッグランの隣にスケボーは危なくないのか（B） ・差別化を図るならかなり特徴がある遊具でないと（C）					

■タイプⅣ 子どもの遊び場

よい点		課題や指摘
子どもの遊び場の必要性 ・遊具の設置は家族連れなどの利用が見込まれ、白鳥園への利用増が見込まれる（A） ・遊具を置いて遊び場広場とするのがよい（A） ・子どもの遊び場でよいと思う、何の遊具をつくれればよいのか（B） ・何にでも使えそう（自由度あり）（B） ・利用、自由度が高い（B） ・広場が多すぎる（B） ・目的をもった施設が利用を増やすか（B） ・少子化でよほど特色を出さないと白鳥園と連動なく稼げない（B） ・子どもの遊び場と芝生の丘は重複、屋根付きならあり（C） ・差別化を図るならかなり特徴がある遊具でないと（C）		
白鳥園の集客につながるか ・白鳥園のお風呂に入ってもらえる（A） ・多世代が楽しめる（市民ニーズ）（B） ・入浴施設を多く利用させるための施設を設置する→大型遊具、テニスコート、マレットゴルフ等々（C） ・年齢層の偏りが気になる（C） ・白鳥園の入場客が65歳未満の大人と子どもが多いので、そこをターゲットとする施設を（タイプⅡ、Ⅳ）（C）		
芝生広場とのつながり ・多目的エリアと一体感がある（A） ・芝生広場との一体感最もあり多くの使い方が可能（B） ・エリアの統一感がある、遊具もあればよい、誰でも楽しめる（B） ・隣との連動性がある、親子（仲間）の交流の場にしてはどうか（B） ・エリアの統一感がよい（B） ・子どもの遊び場と計画公園との差別化がはっきりしない（C）		
その他 ・自由に使えるスペースは必要ことがある（A） ・河川敷に大型駐車場をつくる（A） ・河川敷と白鳥園をつなぐ歩道橋がほしい（A） ・ウォーキングコースがよい（B） ・水で遊べる施設、温泉でできたらうれしい（C） ・ウォーキング、ランニングコースを白鳥園エリアと河川敷エリアにわたって連続性をもたせたらどうか（A） ・施設の運営を民間に（A） ・施設管理には塩尻市なみに十分な資金が必要（A） ・鳴り物入りでつくった白鳥園だが、なぜこんなにも使っていない部屋があるのか。そこは子どものために使えないのか（A） ・駐車場が少ない（B） ・噴水広場がほしい（水の広場）（C）		



■いずれのタイプにも共通する意見

- ・白鳥園をどのようにしたいのか決めないと（A）
- ・圧倒的に駐車場が少なくなりイベントをやったらパンクする（A）
- ・芝生広場の活用に大きく影響するのではないか（A）
- ・芝生広場はイベント等に使う予定はないのか（A）
- ・河川敷と白鳥園の移動が課題（A）
- ・一体利用、個別として利用なのか（A）
- ・芝生エリアが狭い（B）
- ・配管等が必要（電気、ガス、水、排水）（B）
- ・日本庭園ゾーンとの区切りとして園路はよいと考える、全て（C）
- ・堤防道路を堤防天端からおろし河川敷エリアへの安全な接続（C）
- ・屋代地区開発の公共施設と重複しないものを（C）
- ・このエリアのターゲット→子どもたちか（小中高）（体育館側は競技者）（C）

■配置例とは別の用途を検討した意見

- ・B B Qは住民のことを考えて河川敷にしては、芝生広場にもB B Qゾーニングあり（A）
- ・河川敷に何か利用、白鳥園を駐車場はどうか（A）
- ・つけば利用はかつてあった（A）
- ・釣り、いまは川に魚がいない（A）
- ・カヌーなどのサービス拠点、屋形船（芸者ほか）（A）
- ・マウンテンバイク、バギーで河川敷の利用、コースをつくれば人が来る（A）
- ・フリーなオープンスペースとして残す（A）
- ・スポーツ用途はよいので千曲市なら「自転車」の利用施設にしたらどうか（B）
- ・「自転車」活用として河川敷をBMXとかオフロード自転車コースとして活用するのはどうか（B）
- ・アウトドア、キャンプとか（B）

ワーク2 「まち（エリア間・周囲）とのつながりを考えてみよう！」

■ケース① 都市計画道路が整備された場合

（1）出された意見

（ ）内は意見が出された班

エリア間のつながり	周辺環境のつながり
よい点 ・通過交通が減ると行き来しやすい（A）	・都市計画道路の交通量は増えそう（A） ・都市計画道路大賛成（A） ・千曲線整備を待っている人もいる（A） ・通過交通を処理するには両都市計画道路は必要（B） ・温泉街側のまちなかが歩きやすくなり、にぎわいの下地づくりになる（B） ・都市計画道路の早期整備が必要（B）
課題や指摘 ・戸倉体育館と白鳥園のつなぎ方（A） ・3つのエリア間の連続性に欠ける、それぞれ独立した公園（B） ・それぞれの目的が明確にならないとエリア間の人の流れは生まれないのではないかと（B） ・歩きやすさがない（堤防を歩くと気持ちよいだろうがいまは車優先）（B） ・都市計画道路が通っただけでは白鳥園側の影響は少ない（B） ・河川とつなげるには「活用計画」が必要（何をするか）（B） ・エリア間の車道横断は危ないのでトンネルなど何か必要（B） ・河川敷と白鳥園を連絡する通路は必要（B） ・動線としてはつながりにくい（C） ・都市計画道路が整備されても、直接結びついていないのが課題（C） ・都市計画道路ができて解消されない（C） ・堤防道路（車道）の横断は厳しい（C）	・歩道に何か魅力が加わったほうがよい、まっすぐな道はつまらない、楽しい道づくり、花、木（A） ・千曲線と白鳥園をつなぐ道も（A） ・温泉エリアと複合した動線が必要（B） ・道路がでただけだと生活動線になってしまうのではないかと（B） ・周辺へのつながりは悪そう（C） ・堤防道路での分断あり（C） ・都市計画道路整備にあわせて堤防道路は歩行者優先にすべき（C）

（2）イメージ図



（3）ケース①まとめ

<都市計画道路整備による効果>

- ・都市計画道路の交通量が増え、エリア間の行き来はしやすくなる
- ・温泉街のまちなかが歩きやすくなる

<都市計画道路整備では解消されない課題>

- ・堤防道路の横断ができず、エリア間の連続性に欠ける
- ・千曲線から白鳥園のアクセス道路が必要

■ケース② 都市計画道路が整備された＋歩行者・自転車環状ネットワークが整備された場合

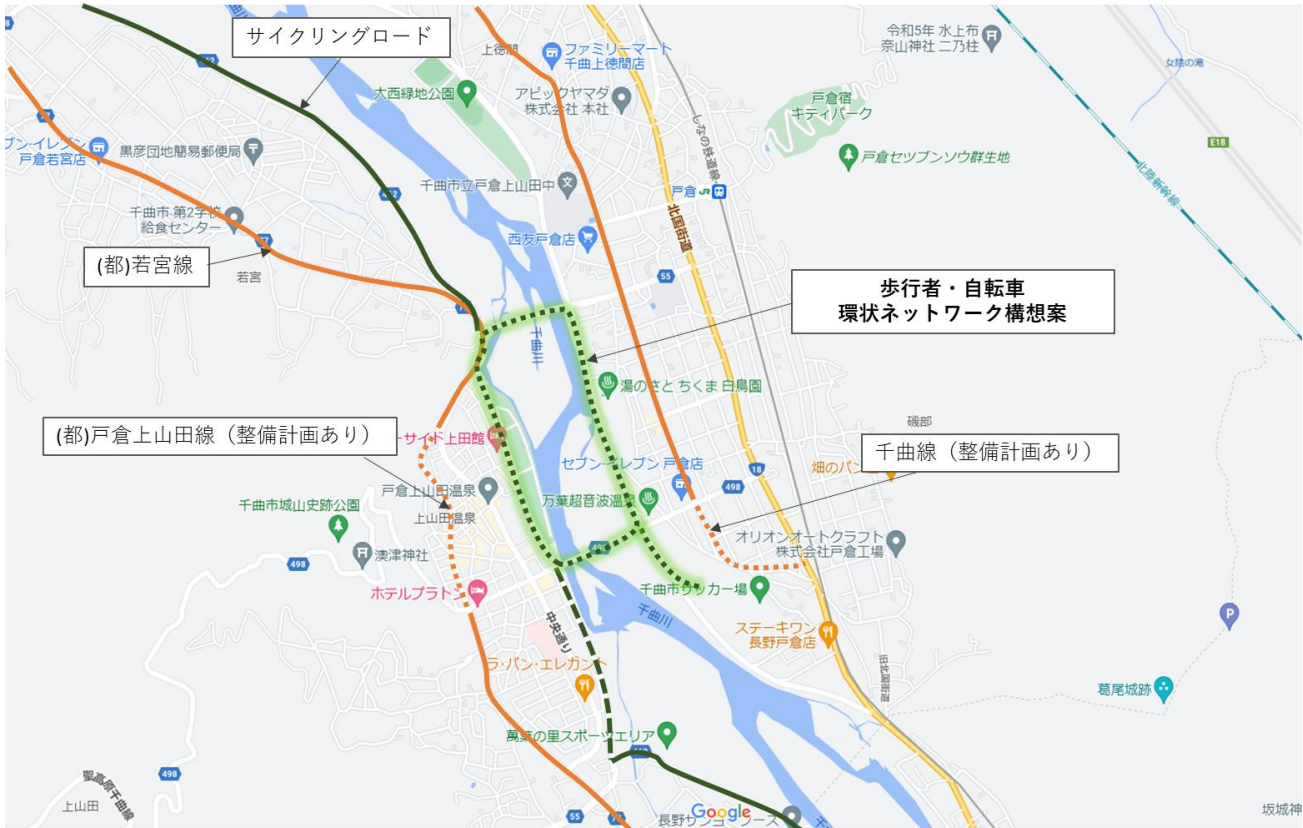
(1) 出された意見

エリア間のつながり		周辺環境のつながり	
		よい点	
・白鳥園と河川敷を合せたランニングコース（A） ・ランニングコースとして使える白鳥園への誘導（A） ・3エリアの連絡性が大変よい（B） ・河川敷と公園との安全が確保できる（C） ・自転車や徒歩で気軽に動ける（車を動かさなくてよい）（C） ・公園に自転車などで行く層（子どもなど）対岸へ行きやすい（C） ・歩行者、自転車道にすることで横断が容易になりそう（C）		・レンタサイクルの利用が増えるのでは（観光等、ネットワーク構想にすれば）（A） ・現状ネットワーク構想案で車を通さないことで白鳥園と河川敷との連続性が生まれ、いま流行であるウォーキング、ランニングコースを長距離にすることができる（A） ・都市計画線を通して堤防をサイクリングロードに（A） ・ウォーキング、サイクリングの安全性が担保できる（B） ・新たな体験プログラムができる、SUP、リバービーチ（B） ・ネットワーク構想の目的、想いは理解できる（B） ・歩行者、自転車の安全性が確保される（B） ・川を挟んで温泉街への周遊が増えて消費増の下地になる（B） ・戸倉体育館エリアと戸倉上山田温泉はつながる（合宿利用）（B） ・温泉との一体性もある（B） ・全てが線でつながるのでよい（C） ・河川敷を利用してつながりそう（C） ・ネットワーク構想がより安全性が高まりサイクリング、ウォーキングとして活用する人が増える（共通）（C） ・観光の方が動きやすい（C） ・歩行者天国のようなイベントがやりやすい（C）	
		課題や指摘	
・河川敷を駐車場にする場合、進入路を設定しにくい（A） ・河川敷は立体パーキング（B） ・公園のつながりは基本河川敷（B） ・堤防道路の安全確保（更埴市民プール、河川敷に駐車場）（B） ・有効であるが実現にはハードル高い（B） ・動線としてはつながりにくい（C） ・ニーズ、活性化（C） →歩いて楽しめるまちをコンセプトとして位置付ける		・自転車より自動車利用が圧倒的に多い（A） ・白鳥園へのアクセス道路はあるのか（A） ・まちなか交通が増えると住民が△（A） ・住民の同意が得られるのか（A） ・上山田側がサイクリングロード（専用）になっていないのは堤外地に車を運ぶため（A） ・スポーツ公園のつながりではなく周辺地域の必要性を考慮すべき（B） ・現状の道路だけでなく新規道路&橋（B） ・環状ネットワークは非現実、公園のためだけでは難しい（B） ・環状ネットワークより歩行者、車道の分離・両都市計画道路の整備がマスト（B） ・いまある道路計画で交通処理が十分か検討が必要（B） ・周辺の家などが不便になる（B） ・必要なし、河川敷エリアに行きたいと思えない（B） ・現白鳥園への流入は堤防道路が主、千曲線から白鳥園への道路整備は必要（B） ・堤防道路の信号撤去（B） ・景色がよくドライブコースとして利用されている（B） ・ネットワーク構想では堤防道路を利用する自動車をどうするか課題（共通）（C） ・白鳥園及び創造館のメイン道路が堤防道路となっている（C）	

■ふたつのケースに分類されないその他の意見

・車か歩くのか（A） ・エリア間の移動手段（A） ・誰のための道路整備なのか（A） ・コロナのなか、なかなか集まれないが各区長、あるいは区民に話をしてもこの計画自体にあまり喰いついてこない、どうしたものか（A） ・総合運動公園全体で人を何人くらい呼ぼうと思うか→駐車場の決まる（ブレイブウォリアーズ2,300台）→どういう活用をするのか、千曲ハーフマラソン、おいしいもの市（あんずフェア1,000人、150台）、公園フェス（B） ・車を逃がすところがない（B） ・河川敷、千曲橋の下、屋代南グラウンド水没する（B） ・都市計画道路整備時点でのケースは不要（C）
--

(2) イメージ図



(3) ケース②まとめ

<歩行者・自動車環状ネットワークによる効果>

- ・堤防道路を安全に横断でき、エリア間の連続性が生まれる
- ・サイクリング・ウォーキング・ランニングコースとして活用できる
- ・温泉街とのつながりもできる

<歩行者・自動車環状ネットワークによる課題>

- ・現状の堤防道路の利用は多く、住民の同意が得られるか
- ・白鳥園エリアや河川敷エリアへの車でのアクセスがしづらくなる

ハード面	ソフト面
・ 体育館から白鳥園へ歩くのが楽しい①遊歩道（①は市道 246 号－306 号のこと）（A） ・ 万葉温泉から体育館へ渡る②横断歩道をかいてほしい（②は①市道と県道 498 号聖高原千曲線が交わる場所）（A） ・ ケース②はよいアイデアだが他の道路への影響が心配、せめて一方通行でも安全性は上がると思う（A） ・ 堤防に穴をあけるとか（B） ・ 河川敷にマレットゴルフ場等をつくっても堤防を渡れる（C） ・ 左岸側の公園内が駐車場となっているが駐車できなくなる（C） ・ 大きな駐車場（起点となる）必要（C） ・ 上山田のまちなかを含めた周回道路（ネットワーク）があれば（C）	・ 歩かせる仕組み（A） ・ まちなかでのイベント→通過交通を排除（A） ・ まちなかの利用も一緒に考える（A） ・ 新戸倉のまちなかに多目的スペース③トラック市、キッチンカー、オープンカフェ（③は市道 306 号沿い観世温泉あたり）（A） ・ 電動自転車の貸し出しをすればよいかもしれない（A） ・ 白鳥園等の利用を考えると公共交通のハブ公園（B） ・ ケース②歩くにはスケールが広いので、スローでよいので移動手段がほしい（グリーンスローモビリティ）（B） ・ まち歩き、ジョギングを P R（観光）（C） ・ 千曲ラン（C） ・ 他の民間施設との連携、ネットワーク（C） ・ 上山田のまちなかを含めた周回道路（ネットワーク）があれば（C）

ワークショップ 1， 2 で出された意見をもとに整理した整備の検討ポイント

白鳥園エリアの検討ポイント

河川敷エリアの検討ポイント

・ 白鳥園の利用につながる整備

→白鳥園の収益を考えると 65 歳未満による温泉施設、飲食スペースの利用につながる整備が必要。子どものあそび場は子育て世代の利用が見込まれ、温泉施設や飲食の利用も見込まれる。

・ 公園全体の機能担保

→戸倉体育館エリアの現状機能の担保として、テニスコートなどの確保を検討。白鳥園の利用につながるかやテニスの現状利用等を総合的に判断し、市全体での機能担保も含めて検討する。

・ 特色のある施設整備

→多くの人が訪れる空間にするためには、周辺にはない特色のある整備が必要である。スケートボードは大西緑地公園との差別化、子どものあそび場は屋内施設や特色のある遊具の設置など周辺との差別化を検討する。

・ 芝生広場との一体感と差別化

→エリア全体の統一感が求められる一方で、芝生広場とは異なる機能の確保も検討する。

・ 水害リスクへの対応

→水害に対する回収負担や機能不全リスクを考慮した整備を検討する。整備は河川断面等を考慮し、ウォーキングやランニングコース、オフロード自転車コース、B B Q、ドッグラン、臨時駐車場などの整備負担の少ないものを検討する。

・ 他のエリアとの有機的な連携

→戸倉体育館エリアと白鳥園エリアをつなぐ役割、かわでのアクティビティ等による温泉街とをつなぐ役割（S U P、カヌー、釣りなど）を検討する。

まちづくりの検討の検討ポイント

・ エリア間、周囲との動線の確保

→堤防道路の安全な横断がエリア間、周囲とのつながりを生むうえで大きな課題であり、実験的な規制等（歩行者・自転車優先、一方通行、時間規制など）を行いながら道路のあり方を検討する。

・ まちなかでのにぎわい創出

→戸倉体育館エリアと白鳥園エリアの間に位置する新戸倉のまちなかでのにぎわい創出（トラック市、キッチンカー、オープンカフェなど）を図り、歩きたくなるしくみづくりを検討する。

・ 温泉街との連携

→スポーツ合宿の利用や川でのアクティビティ、サイクリング・千曲ランなどにより温泉街との連携を図り、地域全体の活性化につながるしくみづくりを検討する。